

# 地域全体で子どもを育む地域ぐるみの教育

～「田布施町地域協育ネット」の取組～

【田布施町 田布施中学校区】

## 地域の概要

田布施町は山口県南東部に位置し、瀬戸内海に臨んだ東西8km、南北15.2km、面積50.35km<sup>2</sup>ほどの町です。南方海上には馬島が浮かび、北には飛地として小行司地区があります。

町内には小学校5校と中学校1校があり、各学校に隣接して公民館があります。

歴代宰相を二人輩出した町ということで、町民の学校教育に寄せる関心は高く、文化的教養を色濃くもちあわせた地域性や、建設的で生産的な気質と気概に満ち溢れた風土が息づいています。

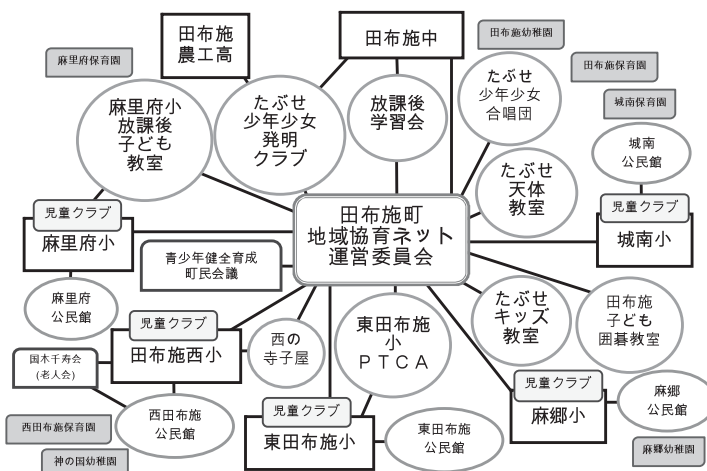
人口	15,883人	
世帯数	7,003世帯	
対象校 及び 児童 生徒数	田布施中学校	408人
	麻里府小学校	20人
	麻郷小学校	233人
	田布施西小学校	222人
	東田布施小学校	266人
	城南小学校	113人

## 組織の内容

田布施町では、地域全体で学校を支援する組織として、平成24年度に「田布施町地域協育ネット運営委員会」を立ち上げました。年2回、6月と2月に運営委員会を開催し、6月の運営委員会では、今年度の方針と事業計画を話し合い、2月には反省と新年度の方向性を協議します。

学校と地域はよく連携し、Win-Winの関係で強く結ばれています。学校は地域の力を学校運営に生かし、地域は学校の力を地域づくりに生かすことで、学校と地域が共に高め合い、成長し合うビジョンを描いています。

「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、地域の方がボランティアで参集し子どもの放課後支援を行う「放課後子ども教室」は、すでに9か所を数えます。内容も充実しており、学力を高めるものをはじめ、五感に呼びかけ感性を豊かにするもの、思考力を育てるもの、創造力を培うものなど多岐にわたっています。



【「地域協育ネット」運営組織図】

## 特色・重点的な取組

「田布施町地域協育ネット」の進展を期した取組の柱は、大きく三つあります。

一つ目は「学校支援」です。学校の教育活動に地域の力を十分に生かし、教育環境の更なる充実を図ります。二つ目は「地域貢献」です。地域活動への子どもたちの積極的な参加を通して、地域の活性化につなげます。三つ目は「幼保・小中の連携」です。幼児児童生徒の交流をはじめ教職員間の連携を密にすることで、幼稚園・保育所から小学校へ、小学校から中学校への接続を円滑にしています。

## 主な活動の紹介

### 【学校支援】

学校支援ボランティアの方が、玄関周辺の掲示板や教室付近の空いたスペースを利用した飾り付けを行います。四季折々の掲示からは、移ろいゆく季節が感じられ、潤いと落ち着きのある学習環境を形成しています。この活動は、ボランティアの方の楽しみにもなっています。



ボランティアによる“季節感あふれる”学習環境づくり

### 【地域貢献】

「輪飾りづくり（公民館主催行事）」に小学生が参加しました。地域の方から指導を受け、苦心して作り上げた輪飾りで新年を迎えます。地域の未来を担う子どもたちが、日本の、または地域の伝統文化を人生の先輩から継承します。



地域の伝統文化の継承

### 【幼保・小中の連携】

小学校の児童と中学校の生徒の交流を通して、心の距離が近づき、身近な存在としてお互いを理解するようになりました。教職員間では、年2回の幼保・小中連絡協議会において情報交換を行うことで、相互の理解を深めるとともに、「小1プロブレム」や「中1ギャップ」の解消等に効果を上げています。



小中の連携

## 成果と課題

「学校を地域に開く」という機運の高まりとともに、学校と地域の結び付きが一層強まりました。学校の中で、生け花の水換えや掲示物の貼替えなどのために来られた学校支援ボランティアの方の姿が日常的に見られるようになったことは、特筆すべき成果として挙げることができます。

来年度、田布施町でもコミュニティ・スクールが産声を上げます。コミュニティ・スクールと「地域協育ネット」を一体的に進めていくために、「田布施町地域協育ネット運営委員会」の委員構成等を含めた学校運営協議会との連携が、今後の課題です。

## 今後の取組

コミュニティ・スクールと「地域協育ネット」の一体的な推進を図るために、「田布施町地域協育ネット運営委員会」の在り方を検討する予定です。運営委員会では「課題や問題点の共有」、「対策の協議」、「取組の改善」に向けた機能を強化し、田布施町の地域性やニーズに合致したコミュニティ・スクールと「地域協育ネット」を進めていきたいと思ひます。